



緑のテラス



今月のテーマ 「春の思い出」

四季の中で、春が一番好きだ。最近の冬は、温暖化の影響で、長く寒い冬ではないが、それでも、春が待ち遠しく、気持ちウキウキしてくる。

春の思い出の中で思い出すのは、学生最後の卒業旅行として、三月に、仲間五人と南九州旅行を三泊四日で行ったことだ。

旅行日程は、全て自分たちでプランニングし、列車での旅行であった。毎晩遅くまで女子トークに花咲かせ、寝不足の中、特に印象深いのは、宮崎の高千穂峡でのボートであった。あわや滝に飲み込まれそうになりながら、大騒ぎし、笹酒を初体験し、笹の香りたつ日本酒に酔いしれた。また、鶴戸神宮で運玉に願いを込めて幸運を願い、朝霧の雲海と神楽が迫力満点であった。

社会人になる前の、つかの間の旅行で、旅好きの私の原点だった。この春の思い出は、私の貴重な青春のページである。今も、時間を見つけては、旅を楽しんでいる。

(旅 好子)

本棚の少し黄ばんだ文庫本に、小さな紙に詩が綴られているのを見つけた。ブルートレインの車中で隣合わせた小学校の先生との会話からできたもの。先生は私にこう話しかけられた。「今日は卒業式でした。私は卒業式の日は学校からまっすぐ旅に出かけます。行き先はいつも汽車に乗ってから決めています」

思い起こすと、社会に出て仕事の壁にぶつかった時、いつも先生の声が聞こえてきたように思う。

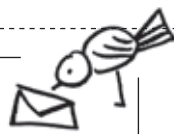
先生、恩師。この言葉には特別な響きがある。

「夜行列車」

夜行列車の狭いシートに身体を曲げておさまれど時を刻めど寝るに至らず隣の客と言葉を交わせば思いがけず教諭にありき思い思いの言葉を重ねていつしか朝を迎える
海岸を走る列車の窓から眩いばかりの光を浴びてやがて郷里の恩師を想う
反射炉の聳える学舎で相撲をとった恩師の顔が青い海の彼方に映る

(ミツヒロ)

投稿大募集



次回6月号のテーマは「ボーナスの思い出」です。忘れられないエピソードなどを 300 字程度で投稿して下さい。

- ★締め切りは4月28日必着です。
- ★投稿多数の場合は編集部で選考させていただきます。また、文章を編集部で整理させていただきますので、あらかじめご了承下さい。
- ★掲載された方にはささやかですが記念品と掲載誌をお贈りいたします。
- ★投稿には住所、氏名、年齢、電話番号、ペンネームを明記の上、郵便、FAX、Eメールで下記まで

〒158-8531
東京都世田谷区上用賀 6-25-1
「緑のひろば 緑のテラス 係」
FAX/03-3426-0326
E-mail/keiei-kikaku@kanto-ctr-hsp.com

それは、桜です。
私が小学二年生の頃、無事復員して故郷に帰ってきた父と、弘前城の満開の桜並木を、母と共に手をつないで歩いたこと。幼心になんとも言えない、幸せを感じていたような気がしたことを思い出す。花びらが少し舞っていた中を。
それから大人になり結婚し、毎年のように友人十数名で、公園での花見会をしたこと。Kさんはトイレに近い所を探してくれた。花に囲まれた中で、みなそれぞれの手作りの御馳走、お酒、歌。それはそれは楽しく過ごした思い出です。最後の思い出は、義父を車椅子で、街の並木道を散策したこと。目の前に広がる花を見ながら、義父の満足そうな笑顔が忘れられない。
ピンクのつぼみから、三分咲き、五分咲きと、大きく花開く桜！四季のある日本の自然は、すばらしい。今年もやってくる三月末？四月？一瞬の輝きを見逃さない。

(ゆり)